（４）教頭部会

会　長　村上　克仁（中村南小学校）
事務局　稲田　充宏（下 田 中学校）

１．研究主題　「小中連携をどう進めるか　～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」

２．研究経過

月・日	研究のあらまし	会　場	備考
4/5（火）	★定期総会及び第１回中央区小・中学校教頭会研修会 「役員選出・組織づくり等」	社会福祉センター	全会員
5/9（月）	★第２回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究体制、研究方法について」 「2022 幡多地区教頭会研究大会について」等	防災センター	全会員
5/16（月）	幡多地区小・中学校教頭会総会・研修会	社会福祉センター	全会員
5/27（金）	令和４年度高知県小・中学校教頭会総会・研修会	高知会館	役員等
6/21（火）	★第３回中央区小・中学校教頭会研修会 「県研究大会にむけて（レポート内容の確認）」 「各学校の働き方改革の現状と課題」	防災センター	全会員
7/26（火）	★第４回中央区小・中学校教頭会研修会 講話「働き方改革について」 講師　四万十市教委　久保良高教育長 講話「退職年齢引上げに伴う制度内容の変更」 講師　教職員・福利課　高田周司チーフ	日産サティオ	全会員
7/28(木)29(金)	第 64 回全国公立学校教頭会研究大会　＊リモート参加	岩手県	代表者
8/22（月）	第２回四万十市校長会・教頭会・主幹教諭会 第５回中央区小・中学校教頭会研修会 ＊コロナウィルスの影響により中止（校長会のみ開催）	社会福祉センター	全会員
9/30（金）	幡多地区小･中学校教頭会研究大会（黒潮大会） ＊一部リモートで参加	黒潮町	全会員
10/21（金）	第 48 回高知県小・中学校教頭会研究大会	高知会館	代表者
11/17(木)18(金)	第 40 回四国教頭会研究大会　※リモート開催	香川県	代表者
12/16（金）	★第５回中央区小・中学校教頭会研修会 講話：若手教員に身に付けてほしい力について 講師：西土佐小学校　宮川成也校長先生	防災センター	全会員
1/6（金）	第３回校長会・教頭会・主幹教諭研修会 ＊教頭はリモートにより参加	社会福祉センター	全会員
1/31（火）	★第６回中央区小・中学校教頭会研修会 「今年度の総括と来年度の方向性」	防災センター	全会員

３．研修活動

（１）研究テーマに係る研修

今年度も「小中連携をどう進めるか～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」をテーマとし研究を進めてきた。

（２）会員からの要望をもとにした研修内容

第３回の教頭会において、４回目以降の研修内容についての要望を会員から出してもらった。やはり最も多かった項目は、「働き方改革をいかに進めていくべきか」であった。他に「人材育成」「退職年齢引き上げに伴う制度内容の変更」等であった。

それらの内容を踏まえ、教頭職の現実の課題及び会員の要望に沿った講師をできるだけ招聘することを心がけながら研修を計画した。

①四万十市教委　久保良高教育長の講話

久保教育長からは「教員の勤務実態」について四万十市の現状を説明していただいた後、多忙の原因や多忙化解消のための意識の持ち方・方法、解消のために現場でできること・行政ができること、保護者に考えてもらいたいこと等をお話しいただいた。

久保教育長からの「四万十市教委としても働き方改革の推進は学校現場では難しい実態があることも十分理解している」という説明、もしくは久保教育長に、現在教頭職の多忙化の原因となっている具体的な業務内容（例：通学バスの差配等）の悩みを直接聞いてもらったことは、課題解決につながらないまでも多くの会員は納得できたと感じる。

②教職員・福利課　高田周司チーフからの説明

「退職年齢引き上げに伴う制度内容の変更」については会員間でも色々な情報がある中、当該業務を実際に担当している高田チーフより説明をしてもらったことは良かった。

ただし、リモートの不具合がないか会場でも事前に確認したにもかかわらず、高田チーフの話が非常に聞きづらく参加してくれていた会員に迷惑をおかけしてしまったことは事務局の責任であり非常に申し訳ないと思っている。

③西土佐小学校　宮川成也校長先生の講話

「管理職として感じる若手教員に身に付けてほしい力について」をテーマに宮川校長先生より講話をいただいた。宮川校長先生のざっくばらんで率直な語り口や内容は参加してくれた会員も非常に納得・満足してくれた表情であった。司会が指名して意見を出してもらいながらお互いの感想等を述べ合った意見交換であったが教頭の職務を進めていくうえで非常に参考になる内容であった。

４．今年度の成果（○）と課題（●）

○会員の要望に基づく研修内容をできるだけ多く実施できたことは良かった。

○また、内容についても意見交換を活発化するために講師を招聘することを基本にしたことも良かった。

●研修会開催時間を午後４時からにしたことは会員の要望によっての数年前からの変更であったが、それでも参加者が少なく非常に寂しい会となったこともあった。

●特に、郡・県研究大会で提起するレポート内容の検討会は参加者が少なかった。代表で発表してもらった西土佐小の宮﨑教頭先生に大変申し訳なく感じた。

５．来年度に向けて

・常に参加者数をある程度見込むためには、毎回の会の内容を工夫し「行ってみたい会」とすることが大切である。来年度もさらに工夫して実施していきたい。